

12月 25日 いちご狩オープン



真っ赤に実った“とちおとめ”などの品種を楽しむ子どもたち

千代田果樹観光協会のいちご狩りオープン式が、わかぐり保育所の子どもたち31人を招待し、すずめつこ森（下佐倉）で開催されました。市内では、5月いっぱいまで摘み取りを楽しむことができます。

安飾まつりで地域交流 12月 7日



会場の安飾小学校で餅つきやソーセージづくり、そば打ちなどを体験した参加者たち

今年で10回目となる「安飾まつり」を、小学校、PTA、地区公民館が共催しました。参加者は、収穫祭、昔の遊び体験、茶道教室などで世代間の交流を深めるとともに、柏崎のひょうたん踊りなどを鑑賞しました。

かすみっ子まつり・子育てひろば 12月 13日



大道芸人によるパフォーマンスショーを楽しむ子どもたち

市子ども会育成連合会の「かすみっ子まつり」と家庭の教育力充実事業企画委員会の「子育てひろばクリスマス会」が、同日あじさい館で開催されました。リースやプレゼント入れブーツづくりなどで240人の参加者にぎわいました。

古シーツが布ぞうりに 12月 14・21日



簡易な編み台を使用いくつかの生地を編み込んでいく参加者

霞ヶ浦公民館の布ぞうり講座では、ゆかた地などの古布を利用した部屋履きを作りました。スリッパよりも蒸れず、汚れたら洗濯できる布ぞうりが人気です。自分だけの個性的な作品作りを楽しみました。

かすみがうらの
スイーツ・おやつコンテスト

～商品化や家庭での普及に期待～



市と市ブランド化推進会議は、「湖山の宝発掘プロジェクト」の一環として、市産の野菜や果物をメインの食材に使用した創作スイーツ・おやつを募集しました。コンテストには、一般の部（高校生以上）と小中学生の部（4年生以上）合わせて32点の応募があり、一次審査の書類選考を通過した12作品について、12月23日に、あじさい館で最終審査会を開催。審査委員長にクッキングスクールネモト・校長の根本悦子さ

んを迎え、厳正な審査の結果、最優秀賞2作品、優秀賞4作品を決定しました。根本委員長によると、「応募作品はどれも力作ぞろい、選考がとても難しかった」とのこと。

今後は、昨年度に実施した「食発見コンテスト」の作品を含め、家庭で楽しめる「おやつ」としてのレシピ化や本格的な「スイーツ」としての商品化など、市産農産物の消費拡大に活用していくこととなります。

一般の部

ブルーベリー&茶葉入りシフォンケーキ

西岡栄子さん(下稲吉)



最優秀賞

【審査員評】健康的にも良いとされるアントシアニンを豊富に含んだブルーベリーとその茶葉を上手に利用しており、すぐにでも商品化できるような完成度の高い作品です。

小中学生の部

ぶどう四姉妹

久松瑞季さん(下稲吉小)



最優秀賞

【審査員評】4つの食感と味(ジャム・ゼリー・粒ゼリー・シャーベット)が楽しめるアイデアが素晴らしい。皮まで上手に利用したり、レモンがほのかに口に残るのも良かったです。



前列左3人目から西岡さん、廣原さん、塙さん
(西岡さんのコメント)ブルーベリーの紫色を二層にするのにこだわりました。市産の食材の豊富さをあらためて実感しました。

優秀賞

- ウチの畑のお野菜パフェ(廣原恵美子さん)
- さつま芋の和風プリン(塙良子さん)



前列左から原さん、久松さん、大塚さん
(久松さんのコメント)ぶどうの皮をジャムにするのが難しかった。応募して本当に良かった。次回も参加したいと思います。

優秀賞

- さつまいもホワイトチョコパイ(大塚夢乃さん)
- みたらしレンコンだんご(原直徒さん)

主催：かすみがうら市／かすみがうら市ブランド化推進会議
後援：土浦農業協同組合／茨城千代田農業協同組合／かすみがうら市農業三士の会／かすみがうら市認定農業者連絡協議会
協力：クッキングスクール ネモト／株式会社 常陽リビング社

受講生募集

布ぞうり教室

好評につき、前回受講できなかった方を優先して追加開催いたします。

期 日 3月11日(水)
時 間 午前9時～正午
場 所 あじさい館
定 員 20人
持 ち 物 布用ハサミ、物差し、目打ちまたは割り箸
費用負担 受講料500円・材料費1,500円
講 師 木村寿子(和布工房 はんてん屋主宰)

申込方法・・・返信用はがき1枚持参のうえ、あじさい館、働く女性の家、千代田公民館の窓口へお申し込みいただくか、往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入し投函ください。
☎ 300-0134 かすみがうら市深谷 3719-1 霞ヶ浦公民館「布ぞうり教室」係
☎ 内線 3011

※受付開始は2月2日(月)から

